

# スポーツ政策の推進とまちづくり

---

---

浜松市役所

市民部 スポーツ振興課 課長

松野 英男



「経営・財務マネジメント強化事業」アドバイザー  
(総務省／地方公共団体金融機構)

PPP/PFI行政実務専門家

PRE／FM研修会アドバイザー(国土交通省/国土交通大学校)

国土交通省PPPサポーター(国土交通省)

公民連携アドバイザー(ふるさと財団)

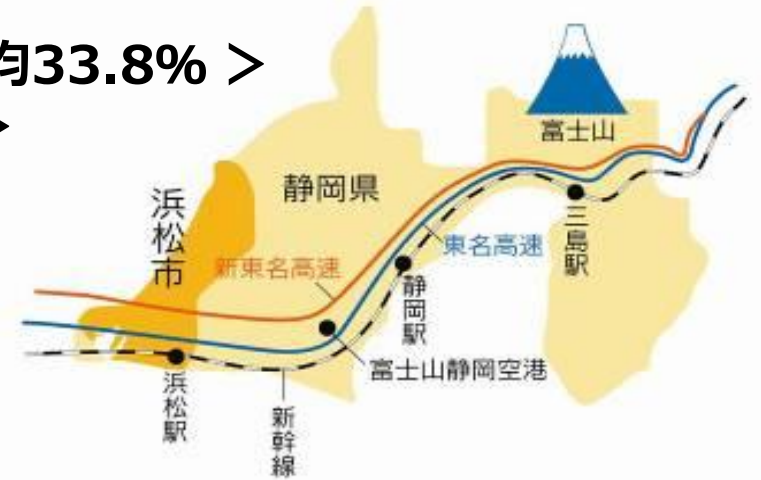
# 浜松市概要

人口：790,580人（2023年4月1日現在 出典：住民基本台帳）

面積：1,558.06Km<sup>2</sup>（全国第2位）

市域に占める森林面積の割合 65.2% <指定都市平均33.8% >

第1次産業人口割合 4.0% <指定都市平均1.0% >



# 浜松市スポーツ政策

## 第2期 浜松市スポーツ推進計画（平成31～令和6年度）



スポーツを取り巻く環境の変化、経済成長の牽引や地域の創生、まちづくりや共生社会の実現などへの多様化、官民連携による施設整備や運営など、時代に即したスポーツ政策を推進する必要がある。

文化・スポーツで地域の創生を!!!!



令和6年1月 ◎スポーツ振興担当部設置へ

令和6年4月～

第3期 浜松市スポーツ推進計画策定中

## 第2期 浜松市スポーツ推進計画（平成31～令和6年度）

スポーツを

する

みる

ささえる

### ◎ スポーツ文化都市 浜松の実現

- ① インクルーシブスポーツの推進
- ② スポーツコミッションの推進
- ③ ビーチ・マリンスポーツの推進

◆ 地域のスポーツ振興から国内外を対象としたスポーツコミッションまで、さまざまな施策を展開

# ① インクルーシブスポーツの推進

障がいの有無や、年齢・性別、国籍等を問わず、誰もがスポーツを楽しめる環境づくり

- ◎ 2020東京パラリンピックホストタウン、2025東京デフリンピック  
⇒ブラジル選手団事前合宿の受入れ
- ◎ ブラインドサッカー日本選手権 準決勝ラウンドの開催
- ◎ ゼロ・スタート・トレーニングラボ事業（スポーツ過疎地域実証）
- ◎ Challenge to インクルーシブ in 浜松2024の開催 など



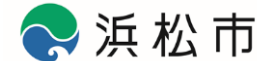
# ◆ ブラジルとの交流から発展

- ・東京2025デフリンピックのブラジル事前合宿の受入れを予定  
⇒地域交流はもとより、市内に在住するブラジル人との交流の機会も創出
- ・ブラジルは、スポーツのレベルが高い(ビーチスポーツなど)
- ・様々な競技の交流を拡大。スポーツの「する」だけでなく、「みる」「ささえる」についても幅広く交流
- ・アスリート間の交流や育成、人口交流など、様々な交流に期待
- ・市内の江之島ビーチコートを整備をきっかけにビーチスポーツ(サッカー・バレー)の交流拡大にも期待



# Challenge to インクルーシブ in 浜松2024

みんなで創る、元氣な未来。



テーマ:「スポーツ×食」 共催事業→民間との連携による事業の展開

日本語版 [inclusive0623info@gmail.com](mailto:inclusive0623info@gmail.com)

日本語版、他の言語が必要な場合はご連絡ください。  
 日文版、如蒙其他語言請與我們聯絡。  
 日文版、如蒙其他語言請與我們聯絡。  
 Japanese version, please contact us if you need other languages.  
 Versión japonesa, contactámonos si necesitamos otros idiomas.  
 Versão japonesa, entre em contato conosco se precisar de outros idiomas.

## Challenge to インクルーシブ in 浜松 2024

会場：サラグリーンアリーナ（浜北総合体育館）

雨天決行（荒天中止の可能性あり）

来場者数が多く安全配慮が必要な場合は入場を制限することがあります

いろんな人が集まって  
一緒に食べて、一緒に遊んで、  
一緒にスポーツをしよう！

年齢や性別、障害のあるなしに関係なく、  
みんな一緒に笑顔で過ごせる社会。  
そんな「インクルーシブ社会」を  
楽しみながら感じ、考えるイベントです。

6/23(日)  
2024  
9:00-16:30  
(開場)

入場無料

車椅子や白杖  
体験して感じよう！

プロ選手とふれあおう！

浜松や世界各国の  
料理を味わおう！

主催 「インクルーシブな未来へ」実行委員会

共催 浜松市 静岡SBSクラブ

後援 MC 内山 倫貴 さん

協賛 浜松市 静岡SBSクラブ 浜松市 静岡SBSクラブ

インクルーシブって何？  
トークセッションやパフォーマンスを  
見て、聞いて、楽しもう！

アスリートが  
こんなに近くに！？  
みんな一緒に楽しくあそぼう！

なんでも あそびに変えられる！  
ASOBI でこえる、  
つながる。

【会場】 サラグリーンアリーナ（浜北総合体育館）  
浜松市浜名区平口 5042-133

【お問い合わせ】  
参加の際に配慮が必要な場合や相談したいことがある  
場合はお気軽にお問い合わせください。  
QRコードからもメール返信が出来ます。  
[inclusive0623info@gmail.com](mailto:inclusive0623info@gmail.com)

【ボランティア募集】  
一緒にイベントを盛り上げてくれるボランティア  
スタッフを募集します！特別なスキルは不要です。  
インクルーシブな社会を築く事に共感のある方は  
一緒にやりましょう！(交通費1000円、お弁当支給)

6/9(日)、6/15(土)、6/16(日)に開催される  
説明会のいずれかにご出席ください。

【協力団体】

【協賛企業】

## ②スポーツコミッションの推進

大規模スポーツ大会や合宿の誘致、スポーツ競技団体との連携を通じ、交流人口の拡大、市の魅力発信、地域経済の活性化の創出

◎水泳日本代表合宿 ◎ラグビーWC事前キャンプ ◎ベトナムU17サッカー代表合宿



◎プロチームとの連携

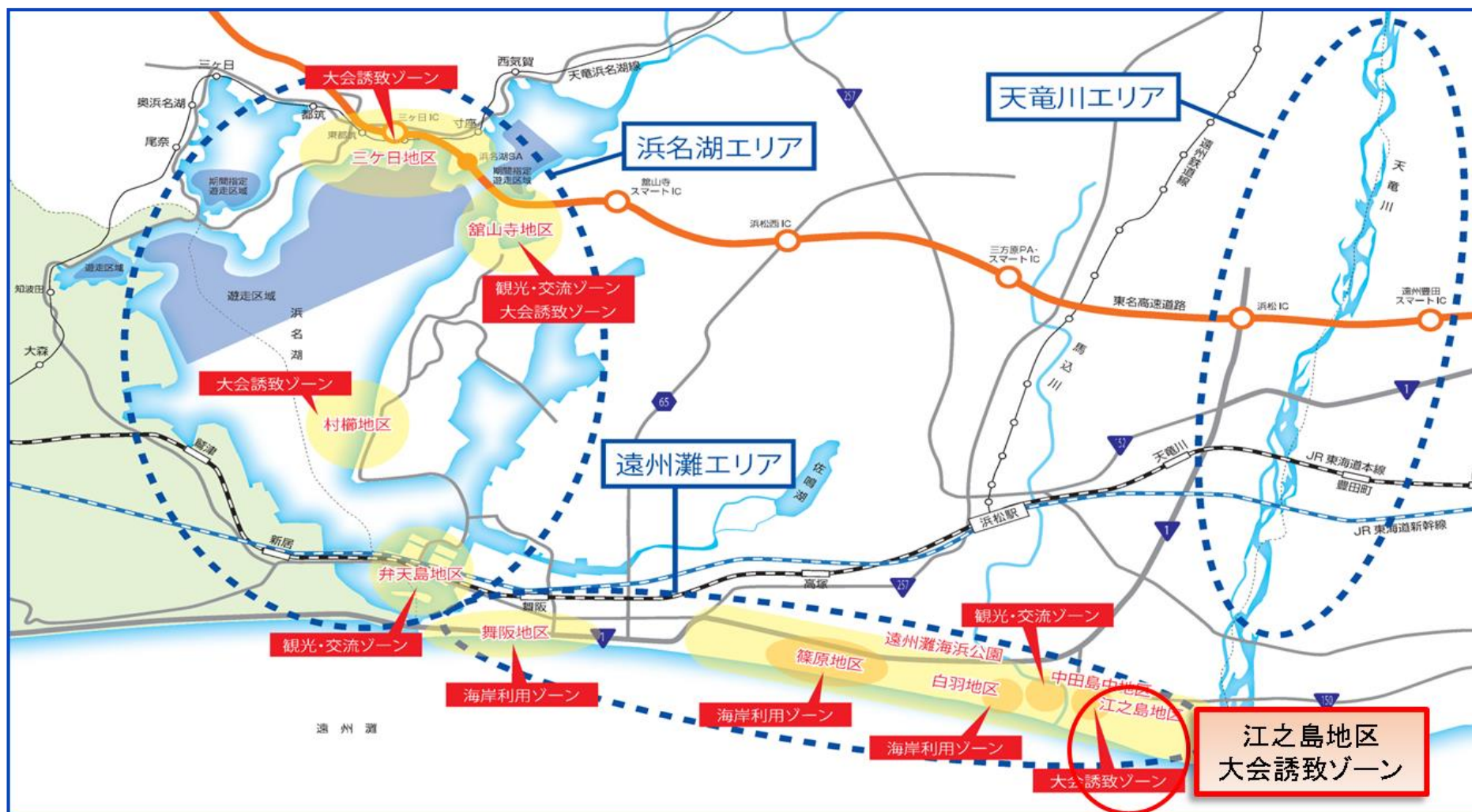


他、ベルテックス(B2)、ハヤテ(ファームリーグ)、東レアローズ静岡(SV)、ヤマハ公式野球部、HONDA FC、静岡SSUポニータ、FCコレチーボ静岡、スズキ浜松アスリートクラブなどスポーツチーム・競技団体(15団体)などとの連携強化



# ②スポーツコミッションの推進

## ビーチ・マリンスポーツ事業化計画における江之島地区の位置づけ



# ③ ビーチ・マリンスポーツの推進

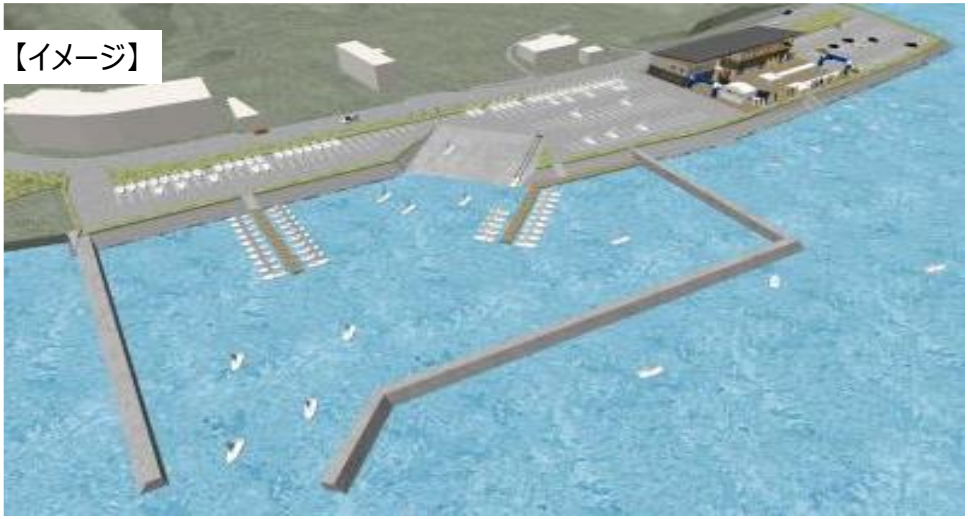
## 浜松市が有する自然環境を活かしたビーチ・マリンスポーツの推進



◎平成30年度  
ビーチ・マリンスポーツ推進協議会を設立  
(市内19団体)  
大規模大会の開催や誘致など連携

«ビーチスポーツの拠点»江之島地ビーチコート (イメージ)

«マリンスポーツの拠点»三ヶ日地区マリン施設 (イメージ)



【イメージ】

◎国際大会可能な施設や環境整備などのハード面、大会やアカデミーなどのソフト面の充実・拡大

■西部清掃工場・古橋廣之進記念浜松市総合水泳場「ToBio」



【概要】

共用開始:平成21年

事業費:

土地取得:約14.3億円

施設整備:約206億円

方式:DBO

事業主体:浜松市

PFI事業者:三井造船グループ

運営・維持:浜松グリーンウェイブ

【西部清掃工場】

敷地面積:約6.7ヘクタール

延床面積:約14,700㎡

構造:鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

地上5階建

その他:バイオマス発電施設(9600KW)

【総合水泳場】

敷地面積:約3.5ヘクタール

延床面積:約17,700㎡

構造:鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

地上2階・地下1階建

その他:国際認定コース



- ・第2期古橋廣之進記念浜松市総合水泳場(ToBiO)運営維持管理事業(令和6年2月～)
- ・前事業は、隣接する西部清掃工場とDBOによる一体事業。
- ・第2期事業は、水泳場単独公募。事業手法は、PFI手法のRO方式を導入
- ・エネルギー供給(蒸気・電気)は現事業と同等なパターンを原則

## ◆対象施設(所在地)

古橋廣之進記念浜松市総合水泳場(ToBiO)

浜松市西区篠原町23982番地の1

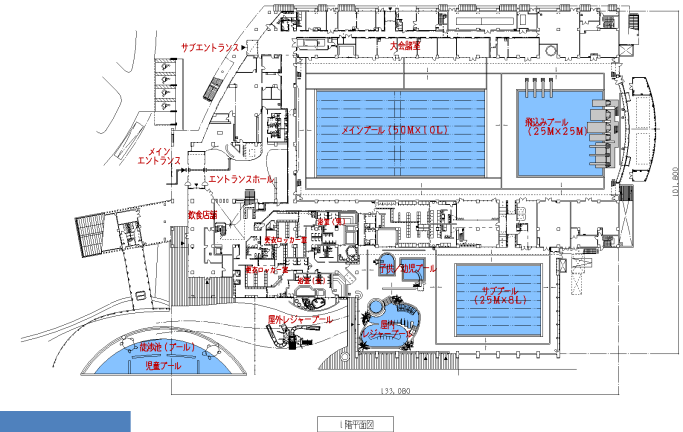
施設主要構成 メインプール(50m×10コース)

サブプール(25m×8コース)

飛び込みプール(25m×25m)

レジャープール、スポーツジム、スタジオ、展示資料室

構造・階数:鉄筋コンクリート造一部鉄筋造、地上2階



スケジュール		主な調整業務・工程
令和4年度	5月下旬	・アドバイザー業務入札
	5月～12月	・実施方針案、要求水準書案、事業契約書・協定書案の作成 ・PFI等審査委員会運営支援(※令和4年度の開催数は調整中)
	1月～3月	・実施方針の公表
令和5年度	4月	・入札公告
	5月～8月	・募集に関する質問・回答支援、審査会実施支援
	9月～11月	・選定事業者の議決
	11月～1月	・協定・契約の締結
	2月～	・第2期事業開始



# 四ツ池公園施設の再編(浜松球場・陸上競技場)

## ◎四ツ池公園スポーツ施設の再整備

⇒浜松球場のあり方・陸上競技場のあり方(令和5年～6年)

⇒民間活かに活用による再整備を前提に検討

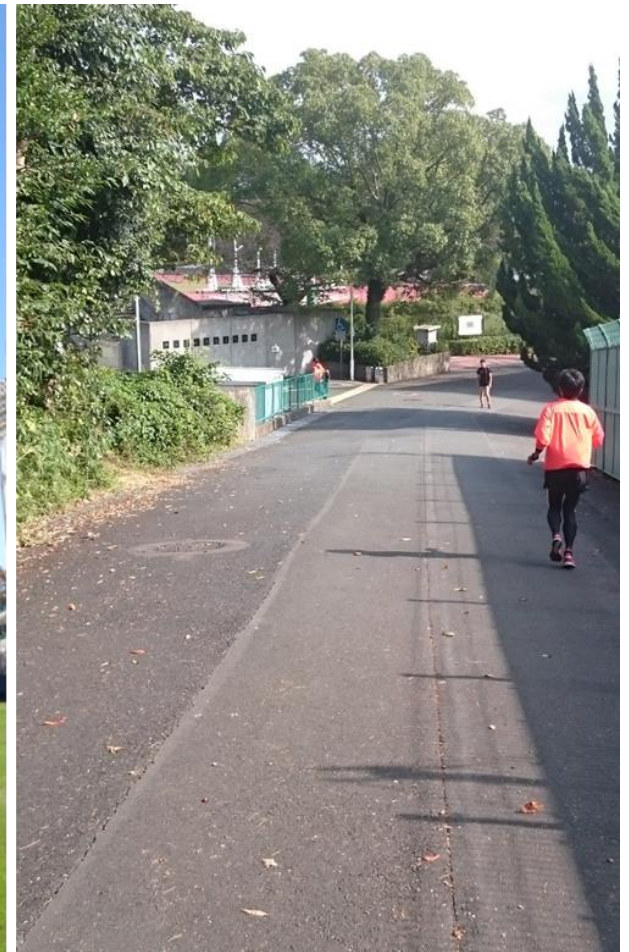
### ◆四ツ池陸上競技場



### ◆浜松球場



### ◆駐車場・その他園内施設





## 浜松アリーナ



- ・1990年（平成2年）開館
- ・最大8000人まで収容
- ・メインアリーナ（65m×44m、2,860 m<sup>2</sup>）、
- ・サブアリーナ（40m×34m、1,360m<sup>2</sup>）、
- ・フィットネスセンター（227m<sup>2</sup>）
- ・研修棟合宿センター



◆浜松アリーナが抱える課題

【ハード面】

- ・築30年以上経過、老朽化への対応(長寿命化・機能向上)



中期修繕計画



不一致



計画の見直し  
・反映

【ソフト面】

◆社会環境変化と新たな事業の展開

- ・インクルーシブスポーツ ・トップアスリート育成
- ・スポーツコミッション ・学校部活動の地域クラブ化 など

新たな方向性



・浜松アリーナの在り方  
 ・民間活力の活用  
 ・アリーナ改革  
 ・稼ぐアリーナ(プロフィット化) など

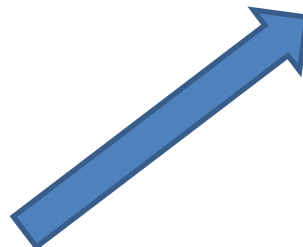


適合

- ◎プロチーム拠点
- ◎まちづくり

【機能】

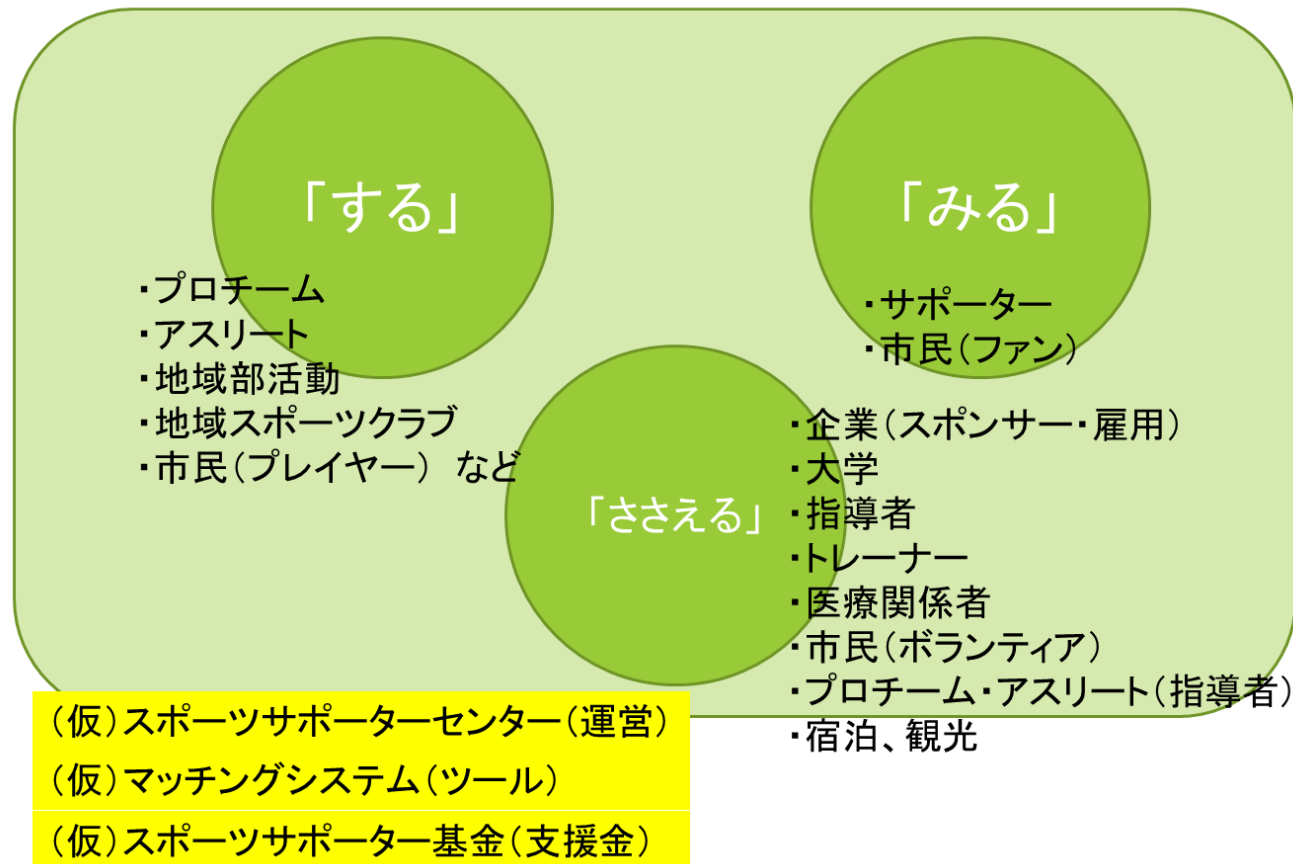
- ・社会ニーズに即した施設機能と運営
- ・低稼働スペースの活用、稼働率の向上
- ・広域施設としての差別化(プロスポーツチームの拠点 > 一般利用)
- ・指定管理者制度による運営の限界(管理から活用)



# ●プラットフォームの構築

地域スポーツ関連団体や大学、企業など本市特有の潜在能力を活かした推進体制づくり

(仮)スポーツコミッションプラットフォーム(イメージ)



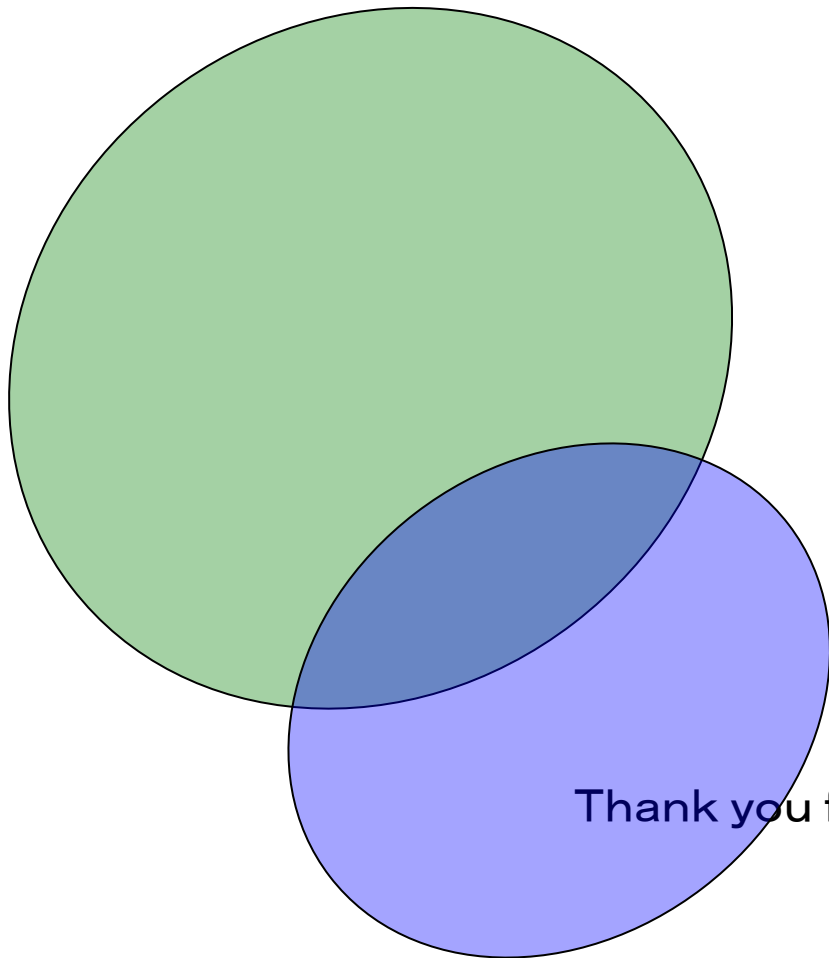
◆ 「する」「みる」「ささえる」の情報共有とマッチング環境の構築



## ●今後のスポーツ政策

- ◎これまでの健康増進（スポーツ振興）だけでなく、
  - ⇒スポーツを通じた成長産業化や地域の創生
  - ⇒地域のまちづくりや共生社会の実現 など
  - ⇒スポーツ施策を更に進化させ、地域活性化の視点を含めた施設と事業の充実
  
- ◎多様化への対応
  - ⇒誘客や地域づくりを意識した事業や施設の運営
  - ⇒官民連携から更に進化した「異分野融合」による時代に即した新たな施策や推進体制の構築
  - ⇒スポーツを「する」「みる」「ささえる」を通じた本市が持つポテンシャルを活かした推進体制を構築

ソフト面  ハード面



Thank you for your attention.

浜松市役所 市民部 スポーツ振興課  
課長 松野 英男